

これは知っとかなきゃ!?

ご利用者様にも職員にもメリットがある、

“区分介護”の実際

	メリット	デメリット
一般介護	<ul style="list-style-type: none">事業所（場所）の数を増加しなくても、業務をまわすことができるので、経営的な負担が少なくなる。全利用者に対する割当職員の数を、区分介護よりも少なく見積もることができる。 <p style="text-align: center;">経営的に有利!</p>	<ul style="list-style-type: none">想定される利用者の状態や状況が広範囲になるので、職員の対応範囲も広くなり、負担が大きくなる。一つの施設内に、種々な状態の方々が混在することになるので、もしかすると個人の意欲や尊厳を損ないかねない。
区分介護（こもれびの杜）	<ul style="list-style-type: none">介護レベルに合わせたサービスに専念できるので、安心と安全が向上し、ご利用者が満足できることが期待される。 ※こもれびの杜グループでは、それを高めるために、研修や勉強会を継続的に実施している。介護レベルを区分することで、より繊細な対応ができ、ご利用者の自尊心を守ることができる。 例) こもれび苑、めぐみ苑・のぞみ苑、他性別に着目し、その特性を生かした環境や対応を行うことによって、個人の尊厳を確保することができる。 例) ダンディクラブご利用者が、自分の自立意欲を維持、向上することに専念できる。 例) ヒューマンサポート下松	<ul style="list-style-type: none">施設が増えてしまう傾向にあるので、設備費および経費が増加する。さらに、利用者に対する職員数の比率が高くなるので人件費が増え、労務管理や事務等の間接費も増大してしまう。 すなわち、経営的な負担が大きくなる。 <p style="text-align: center;">要するに、 ご利用者様の満足度と、 職員の働きやすさを優先した 運営を頑張っている、 ということです。</p>

まとめ! 『区分介護』が成立すると、利用者、職員ともに幸せになれる!
では、その成功のカギは??

- ①職員全員が『区分介護』の目的を理解し、意識して行動すること
- ②運営と経営のバランスを考え、安心安全を意識して実践すること

成功が事業を安定化し、明るい未来を築くことができる